

# 協働のまちづくりに関する職員アンケート結果

令和5年3月  
丸亀市生涯学習課

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

- ・日ごろの業務推進における職員の協働に対する意識と現状、また、マルタスの利用状況などを把握することにより、令和5年度に予定している「第2次丸亀市協働推進計画（仮称）」策定のための資料とする。
- ・職員に協働について考えていただく機会とする。

### (2) 調査期間

令和5年1月4日（木）～18日（水）

### (3) 調査対象

丸亀市役所正規職員 980人

### (4) 調査方法

キントーンによる回答またはアンケート用紙による回答を庁内メールにより依頼

### (5) 回答状況

回答数 416件（回答率42.4%）

### (6) 質問概要と結果の該当ページ

ページ

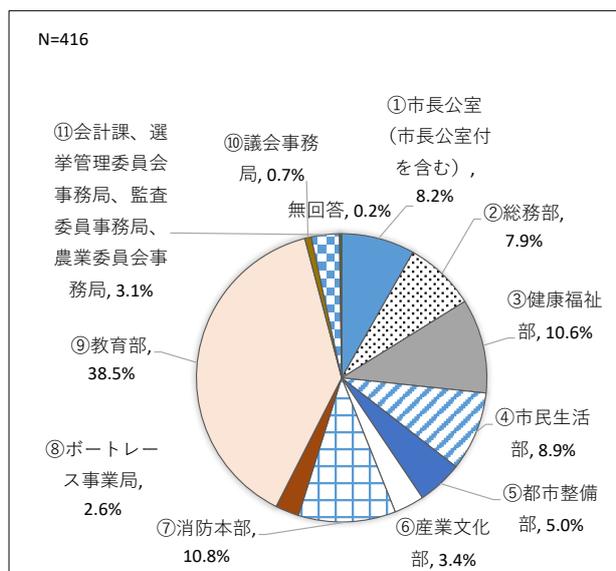
回答者の属性	問1	所属	3
	問2	勤続年数	3
業務推進における庁内連携について	問3	他課職員と日ごろから情報共有などを行っているか	4
	問4	他課職員と日ごろから情報共有などを行っていない理由	5
業務推進における市民活動団体やコミュニティなどのかかわりについて	問5	業務を進めるうえで市民活動団体等とかかわりがあるか	6
	問6	どのような市民活動団体等とかかわりがあるか	7
	問7	市民活動団体等は事業にどのようにかかわっているか	8
	問8	市民活動団体等とかかわったことで効果・成果があったか	9
	問9	どのような効果・成果があったか	10
	問10	効果・成果を挙げられなかった理由	10
本市における協働の推進について	問11	本市の施策や事業を推進していくうえで市民等との協働についてどう思うか	11
	問12	協働が必要と思う理由	12
	問13	協働が必要と思わない理由	13
	問14	協働が必要かどうか分からないを選択した理由	14
協働に対する意識について	問15	協働の推進をどの程度意識して業務を行っているか	15
	問16	相手が受け取りやすい情報発信をしているか	16
マルタスの利用状況について	問17	マルタスの利用経験	17
	問18	マルタスをどのように利用したか	18
	問19	マルタスと庁舎が隣接していることが業務推進にとってメリットと思うか	19
	問20	メリットと思う理由	20
地域活動への参加状況について	問21	仕事以外で地域活動に参加しているか	21
	問22	参加していない理由	22
自由記述	問23	本市の協働推進について必要と思うことなど	23

## 2. 調査結果

### 【回答者の属性】

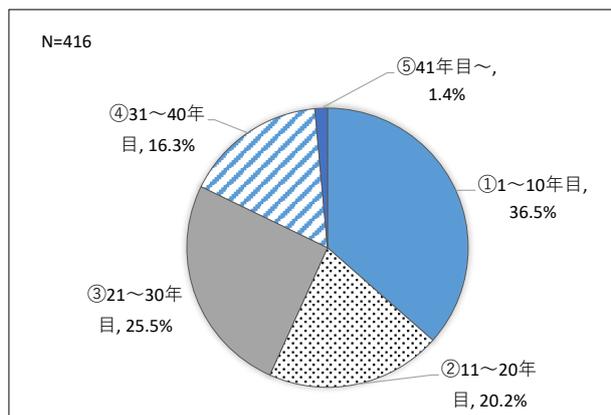
#### 問1. 所属（選択は1つ）

	回答数	割合
①市長公室（市長公室付を含む）	34	8.2%
②総務部	33	7.9%
③健康福祉部	44	10.6%
④市民生活部	37	8.9%
⑤都市整備部	21	5.0%
⑥産業文化部	14	3.4%
⑦消防本部	45	10.8%
⑧ポートルース事業局	11	2.6%
⑨教育部	160	38.5%
⑩議会事務局	3	0.7%
⑪会計課、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、農業委員会事務局	13	3.1%
無回答	1	0.2%
合計	416	100.0%



#### 問2. 勤続年数（選択は1つ）

	回答数	割合
①1～10年目	152	36.5%
②11～20年目	84	20.2%
③21～30年目	106	25.5%
④31～40年目	68	16.3%
⑤41年目～	6	1.4%
合計	416	100.0%



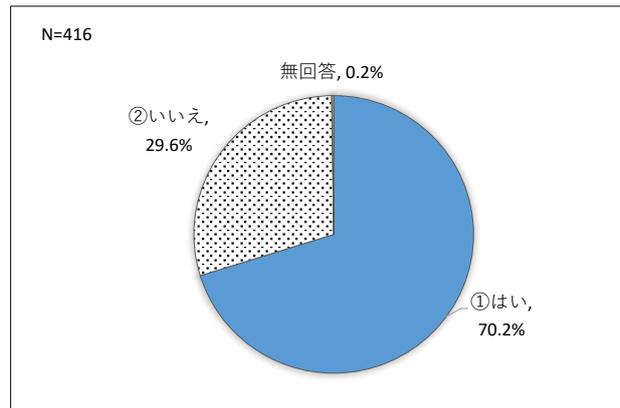
【業務推進における庁内連携について】

問3. あなたが業務を進めるうえで、日ごろから他課職員と情報共有し、話し合っていますか。（選択は1つ）

	回答数	割合
①はい	292	70.2%
②いいえ	123	29.6%
無回答	1	0.2%
合計	416	100.2%

《勤続年数別》

	①はい	②いいえ	無回答	合計
1～10年目	93	59	0	152
	61.2%	38.8%	0.0%	100.0%
11～20年目	57	26	1	84
	67.9%	31.0%	1.2%	100.0%
21～30年目	81	25	0	106
	76.4%	23.6%	0.0%	100.0%
31～40年目	58	10	0	68
	85.3%	14.7%	0.0%	100.0%
41年目～	3	3	0	6
	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%

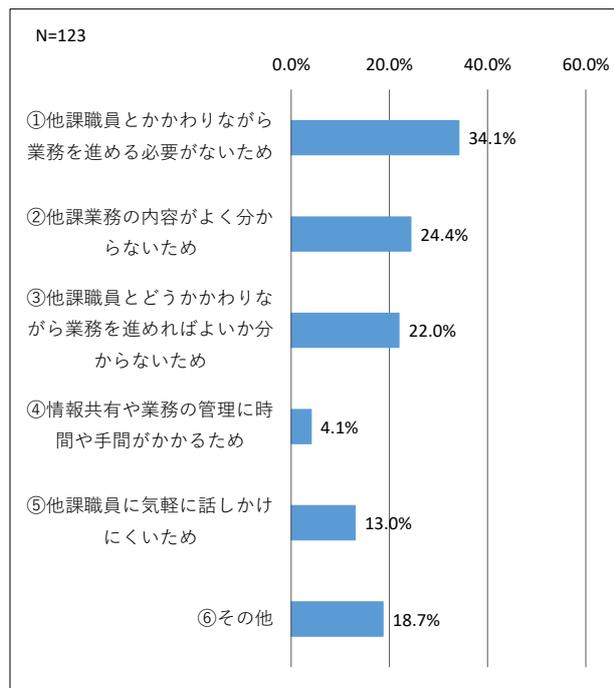


- 「①はい」と回答した人が70.2%、「②いいえ」と回答した人が29.6%である。
- 勤続年数別に「①はい」と回答した人の割合を見ると、「1～10年目」が61.2%、「11～20年目」が67.9%、「21～30年目」が76.4%、「31～40年目」が85.3%、「41年目～」が50.0%である。40年目までの人を見ると、勤続年数が高いほど「①はい」と答えた人の割合が高い。

問4. 問3で「②いいえ」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。（選択はいくつでも）

N=123

	回答数	割合
①他課職員とかかわりながら業務を進める必要がないため	42	34.1%
②他課業務の内容がよく分からないため	30	24.4%
③他課職員とどうかかわりながら業務を進めればよいか分からないため	27	22.0%
④情報共有や業務の管理に時間や手間がかかるため	5	4.1%
⑤他課職員に気軽に話しかけにくい	16	13.0%
⑥その他	23	18.7%



⑥その他の意見

- ・会う機会がない。（7人）
- ・他課と物理的及び業務類似性において関わりが希薄であるため。ただ、この現状はよくないと思います。
- ・外部のため必要なときのみ、上司からの報告のみ
- ・業務に必要な課とは、相談をしすすめている
- ・必要なものだけ情報共有している
- ・管理職の先生が連携をとっている
- ・幼稚園の現場勤務なので、自分が直接、他課職員と話をすることはない。だが、自身の園内ではしっかりと情報共有を行い、園長から役所へなど、しっかり情報は共有されていると思う。
- ・幹部職員が他課との協力を推進しないから。
- ・上司が他園と連絡をとったり、役所に電話を掛けていることはあるが、他課職員と連携をとっているのかは分からないし、自分自身も連絡をとることがないため。

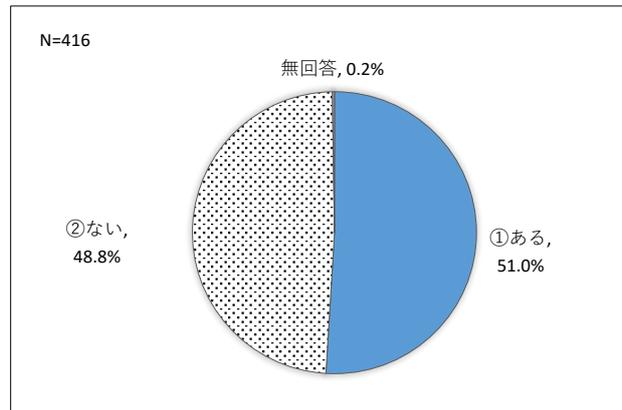
● 「①他課職員とかかわりながら業務を進める必要がないため」を選択した人が34.1%と最も多い。以下、「②他課業務の内容がよく分からないため」24.4%、「③他課職員とどうかかわりながら業務を進めればよいか分からないため」22.0%と続いている。

● 「④情報共有や業務の管理に時間や手間がかかるため」を選択した人は4.1%である。

【業務推進における市民活動団体やコミュニティなどのかかわりについて】

問5. あなたが業務を進めるうえで、市民活動団体やコミュニティ、事業者など（以下、「市民活動団体等」という。）とかかわりがありますか。（選択は1つ）

	回答数	割合
①ある	212	51.0%
②ない	203	48.8%
無回答	1	0.2%
合計	416	100.0%



《勤続年数別》

	①ある	②ない	無回答	合計
1～10年目	76	76	0	152
	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
11～20年目	42	41	1	84
	50.0%	48.8%	1.2%	100.0%
21～30年目	54	52	0	106
	50.9%	49.1%	0.0%	100.0%
31～40年目	37	31	0	68
	54.4%	45.6%	0.0%	100.0%
41年目～	3	3	0	6
	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%

- 「①ある」と回答した人が51.0%、「②ない」と回答した人が48.8%である。
- 勤続年数別に「①ある」と回答した人の割合を見ると、「1～10年目」、「11～20年目」、「41年目～」が50.0%、「21～30年目」が50.9%、「31～40年目」が54.4%と、「31～40年目」の人の割合が最も高い。

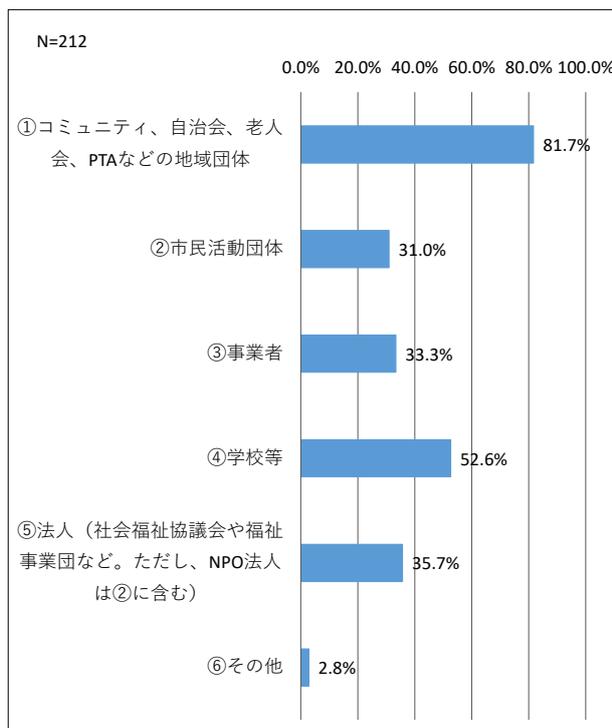
問6. 問5で「①ある」と答えた方にお聞きします。どのような市民活動団体等とかわりがありますか。  
(選択はいくつでも)

N=212

	回答数	割合
①コミュニティ、自治会、老人会、PTAなどの地域団体	174	81.7%
②市民活動団体	66	31.0%
③事業者	71	33.3%
④学校等	112	52.6%
⑤法人（社会福祉協議会や福祉事業団など。ただし、NPO法人は②に含む）	76	35.7%
⑥その他	6	2.8%

⑥その他の意見

- ・民生委員
- ・土地改良区、水利組合
- ・社会福祉法人



● 「①コミュニティ、自治会、老人会、PTAなどの地域団体」を選択した人が81.7%と最も多い。以下、「④学校等」52.6%、「⑤法人（社会福祉協議会や福祉事業団など。ただし、NPO法人は市民活動団体に含む）」35.7%と続いている。

● 「③事業者」は33.3%、「②市民活動団体」は31.0%である。

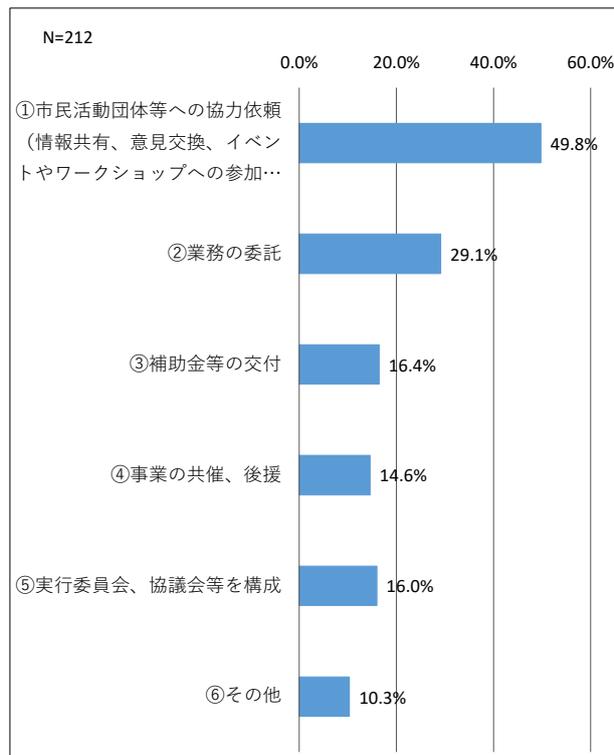
問7. 問5で「①ある」と答えた方にお聞きします。市民活動団体等は市の事業にどのようにかかわっていますか。（選択はいくつでも）

N=212

	回答数	割合
①市民活動団体等への協力依頼（情報共有、意見交換、イベントやワークショップへの参加など）	106	49.8%
②業務の委託	62	29.1%
③補助金等の交付	35	16.4%
④事業の共催、後援	31	14.6%
⑤実行委員会、協議会等を構成	34	16.0%
⑥その他	22	10.3%

⑥その他の意見

- ・講座を連携して開催
- ・事業実施のための回覧依頼
- ・事業に対する理解、了承及び協力
- ・事業団からの職員派遣
- ・納税、納税証明の発行、庁舎等使用許可申請の受付
- ・教育・保育の質の向上
- ・道路付属物設置に伴う同意書、申請書の提出願
- ・DMOなど特定の目的を持った任意組織
- ・市民情報の提供
- ・打ち合わせ、住民の情報
- ・ケース支援
- ・園の研修として、被差別部落に関する研修を受けさせてもらっている。
- ・保育施設（事業）の監査
- ・移動図書館車の駐車スペース提供等、移動図書館事業に関する協力を得ている。団体貸出として、学校、福祉施設等に図書を貸出ししている。図書館で除籍した資料を、コミュニティセンターや福祉施設等に提供している。イベント開催の会議室を借りる、講師を推薦してもらうなど、イベントに関する協力を得ている。児童福祉施設や学校からの、図書館見学や職場体験を受け入れている。広報に関して、図書館カレンダーを施設に設置してもらうなど、協力を得ている。
- ・救急業務の連携

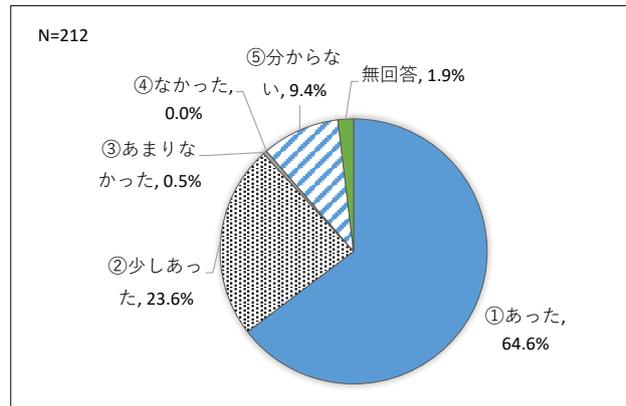


● 「①市民活動団体等への協力依頼（情報共有、意見交換、イベントやワークショップへの参加など）」を選択した人が49.8%と最も多い。以下、「②業務の委託」29.1%、「③補助金等の交付」16.4%、「⑤実行委員会、協議会等を構成」16.0%と続いている。

問8. 問5で「①ある」と答えた方にお聞きします。市民活動団体等とかわったことで効果・成果がありましたか。（選択は1つ）

N=212

	回答数	割合
①あった	137	64.6%
②少しあった	50	23.6%
③あまりなかった	1	0.5%
④なかった	0	0.0%
⑤分からない	20	9.4%
無回答	4	1.9%
合計	212	100.0%



《勤続年数別》

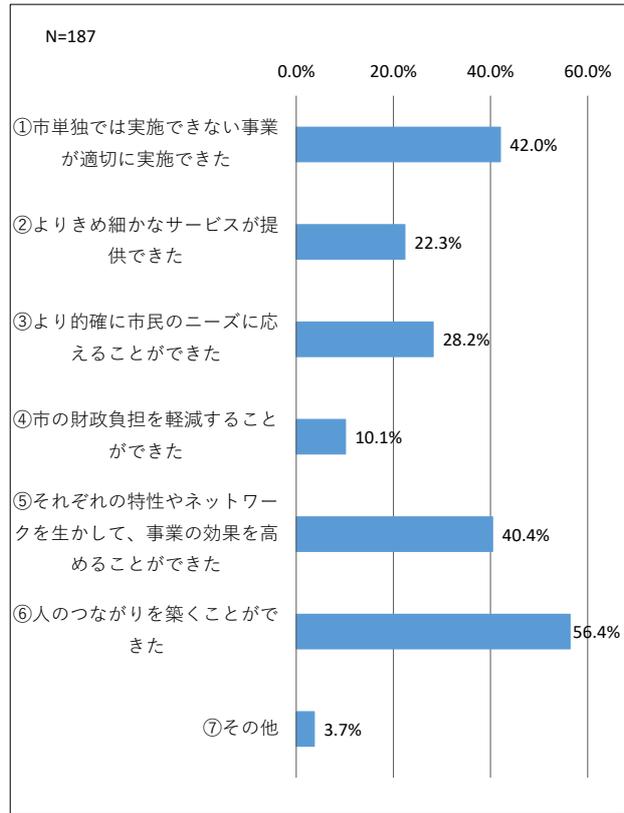
	①あった	②少しあった	③あまりなかった	④なかった	⑤分からない	無回答	合計
1～10年目	41	23	1	0	9	2	76
	53.9%	30.3%	1.3%	0.0%	11.8%	2.6%	100.0%
11～20年目	23	11	0	0	7	1	42
	54.8%	26.2%	0.0%	0.0%	16.7%	2.4%	100.0%
21～30年目	40	9	0	0	4	1	54
	74.1%	16.7%	0.0%	0.0%	7.4%	1.9%	100.0%
31～40年目	32	5	0	0	0	0	37
	84.2%	13.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.4%
41年目～	1	2	0	0	0	0	3
	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

- 「①あった」「②少しあった」と回答した人が合計88.2%である。
- 「③あまりなかった」「④なかった」と回答した人が合計0.5%である。
- 「⑤分からない」と回答した人が9.4%である。
- 勤続年数別に「①あった」「②少しあった」と回答した人の割合を見ると、「1～10年目」が84.2%、「11～20年目」が81.0%、「21～30年目」が90.8%、「31～40年目」が97.4%、「41年目～」が100.0%である。「31～40年目」「41年目～」の人の割合が比較的高い。
- 勤続年数別に「⑤分からない」と回答した人の割合を見ると、「1～10年目」が11.8%、「11～20年目」が16.7%、「21～30年目」が7.4%、「31～40年目」「41年目～」がともに0.0%である。「1～10年目」「11～20年目」の人の割合が比較的高い。

問9. 問8で「①あった」「②少しあった」と答えた方にお聞きします。どのような効果・成果がありましたか。（選択はいくつでも）

N=187

	回答数	割合
①市単独では実施できない事業が適切に実施できた	79	42.0%
②よりきめ細かなサービスが提供できた	42	22.3%
③よりの確に市民のニーズに応えることができた	53	28.2%
④市の財政負担を軽減することができた	19	10.1%
⑤それぞれの特性やネットワークを生かして、事業の効果を高めることができた	76	40.4%
⑥人のつながりを築くことができた	106	56.4%
⑦その他	7	3.7%



⑦その他の意見

- ・広報の充実
- ・自分の知識が増えた。
- ・園内だけでは体験できないことが体験できた
- ・職場では知り得ない情報が他のルートから知ることができた。
- ・近隣住民の了承及び協力を得て、市の事業を円滑に行うことができた。
- ・離島のような業務委託先を探すのが困難な地域性のところでNPO法人がその受け皿として活動してくれている
- ・独居高齢者の安否確認など、大変お世話になっております。

●「⑥人のつながりを築くことができた」を選択した人が56.4%と最も多い。以下、「①市単独では実施できない事業が適切に実施できた」42.0%、「⑤それぞれの特性やネットワークを生かして、事業の効果を高めることができた」40.4%と続いている。

●「④市の財政負担を軽減することができた」は10.1%である。

問10. 問8で「③あまりなかった」「④なかった」と答えた方にお聞きします。その理由として考えられることをお答えください。（選択はいくつでも）

N=1

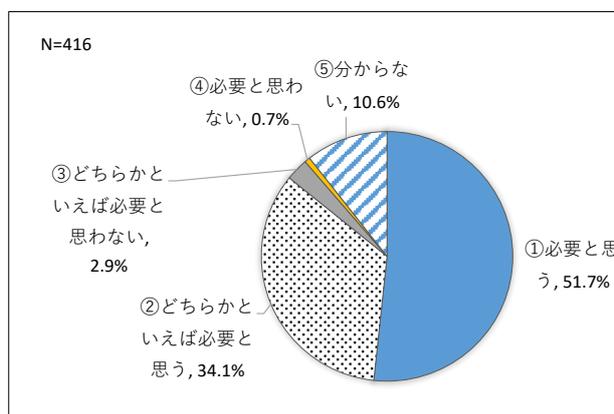
	回答数	割合
①市単独で行うより時間や手間が増えた	1	100.0%
②事業の目的や目標を共有できなかった	0	0.0%
③役割分担や責任の所在が不明確だった	0	0.0%
④事業の実施状況など、過程において情報を十分共有できなかった	0	0.0%
⑤それぞれの特性を生かして事業を実施することができなかった	0	0.0%
⑥その他	0	0.0%

●回答した人は1人である。「③あまりなかった」という理由としては、「①市単独で行うより時間や手間が増えた」が挙げられている。

【本市における協働の推進について】

問11. 本市の施策や事業を推進していくうえで、市民等との協働についてどう思いますか。（選択は1つ）

	回答数	割合
①必要と思う	215	51.7%
②どちらかといえば必要と思う	142	34.1%
③どちらかといえば必要と思わない	12	2.9%
④必要と思わない	3	0.7%
⑤分からない	44	10.6%
合計	416	100.0%



《勤続年数別》

	①必要 と思う	②どちら かとい えば必 要と思 う	③どち らかと いえ ば必要 と思わ ない	④必要 と思わ ない	⑤分か らない	無回答	合計
1～10年目	67 44.1%	63 41.4%	2 1.3%	0 0.0%	20 13.2%	0 0.0%	152 100.0%
11～20年目	46 54.8%	27 32.1%	2 2.4%	1 1.2%	8 9.5%	0 0.0%	84 100.0%
21～30年目	57 53.8%	30 28.3%	5 4.7%	2 1.9%	12 11.3%	0 0.0%	106 100.0%
31～40年目	42 61.8%	19 27.9%	3 4.4%	0 0.0%	4 5.9%	0 0.0%	68 100.0%
41年目～	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%

- 「①必要と思う」「②どちらかといえば必要と思う」と回答した人が合計85.8%である。
- 「③どちらかといえば必要と思わない」「④必要と思わない」と回答した人が合計3.6%である。
- 「⑤分からない」と回答した人が10.6%である。
- 勤続年数別に「①必要と思う」「②どちらかといえば必要と思う」と回答した人の割合を見ると、「1～10年目」が85.5%、「11～20年目」が86.9%、「21～30年目」が82.1%、「31～40年目」が89.7%、「41年目～」が100.0%である。「31～40年目」「41年目～」の人の割合が比較的高い。
- 勤続年数別に「⑤分からない」と回答した人の割合を見ると、「1～10年目」が13.2%、「11～20年目」が9.5%、「21～30年目」が11.3%、「31～40年目」が5.9%、「41年目～」が0.0%である。「1～10年目」の人の割合が最も高い。

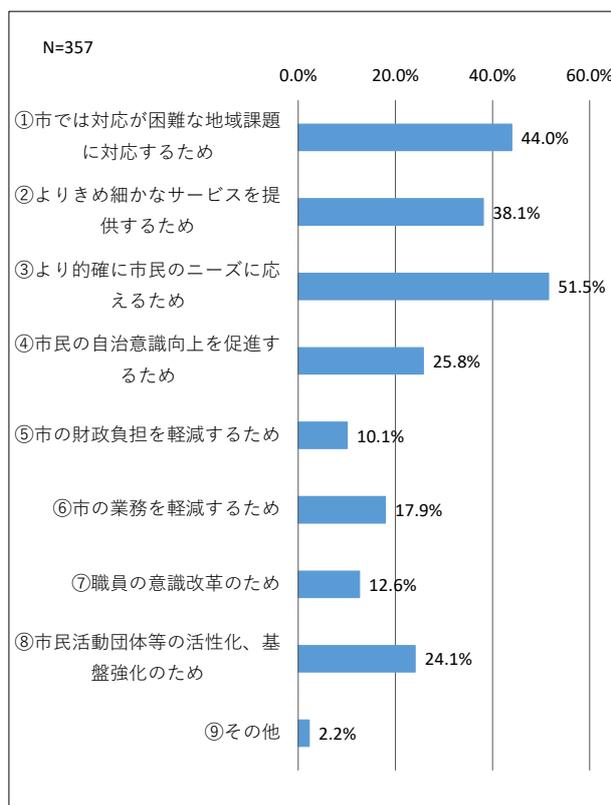
問12. 問11で「①必要と思う」「②どちらかといえば必要と思う」と答えた方にお聞きします。協働が必要と思う理由は何ですか。（選択はいくつでも）

N=357

	回答数	割合
①市では対応が困難な地域課題に対応するため	157	44.0%
②よりきめ細かなサービスを提供するため	136	38.1%
③よりの確に市民のニーズに応えるため	184	51.5%
④市民の自治意識向上を促進するため	92	25.8%
⑤市の財政負担を軽減するため	36	10.1%
⑥市の業務を軽減するため	64	17.9%
⑦職員の意識改革のため	45	12.6%
⑧市民活動団体等の活性化、基盤強化のため	86	24.1%
⑨その他	8	2.2%

⑨その他の意見

- ・悪しき風習を取り除き、健全な職場を構築するため！
- ・市民による地元意識養成
- ・施策の推進にあたって、もはや官
- ・市役所も土日祝日と担当
- ・子どもの育ちに必要な情報交換や経験ができるから



- 「③よりの確に市民のニーズに応えるため」を選択した人が51.5%と最も多い。以下、「①市では対応が困難な地域課題に対応するため」44.0%、「②よりきめ細かなサービスを提供するため」38.1%と続いている。
- 「⑥市の業務を軽減するため」は17.9%、「⑤市の財政負担を軽減するため」は10.1%である。

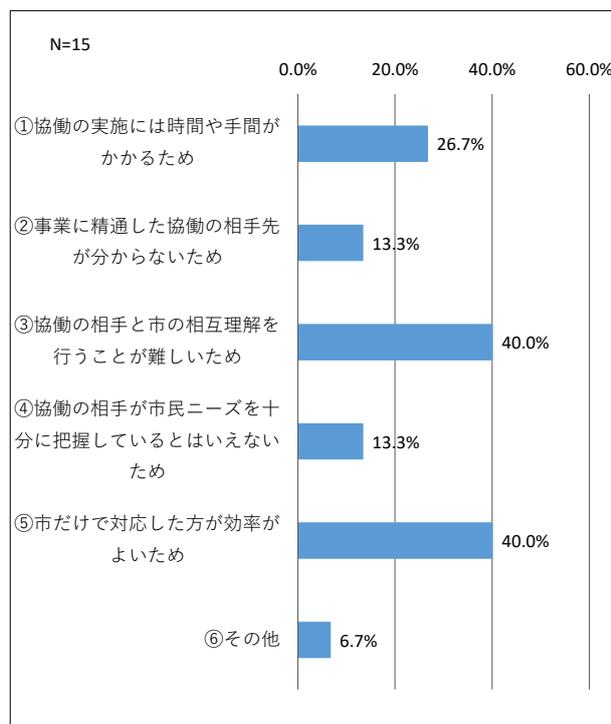
問13. 問11で「③どちらかといえば必要と思わない」「④必要と思わない」と答えた方にお聞きします。協働が必要と思わない理由は何ですか。（選択はいくつでも）

N=15

	回答数	割合
①協働の実施には時間や手間がかかるため	4	26.7%
②事業に精通した協働の相手先が分からないため	2	13.3%
③協働の相手と市の相互理解を行うことが難しいため	6	40.0%
④協働の相手が市民ニーズを十分に把握しているとはいえないため	2	13.3%
⑤市だけで対応した方が効率がよい	6	40.0%
⑥その他	1	6.7%

⑥その他の意見

- ・内容を理解してもらうのが困難
- ・形骸化したものも多い。お互いにやらされ感が強く、自発的なものが少ないように思う
- ・個人情報の取り扱いが難しい。協働というよりは委託といえる。協働と委託の違いが曖昧。協働といいながら市の負担が大きい



● 「③協働の相手と市の相互理解を行うことが難しいため」、「⑤市だけで対応した方が効率がよい」を選択した人がともに40.0%と最も多い。以下、「①協働の実施には時間や手間がかかるため」26.7%と続いている。

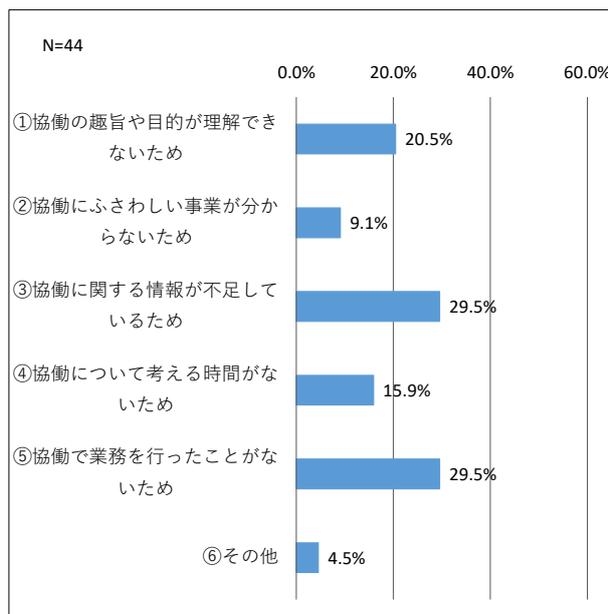
問14. 問11で「⑤分からない」と答えた方にお聞きします。「分からない」を選択した理由は何ですか。  
(選択はいくつでも)

N=44

	回答数	割合
①協働の趣旨や目的が理解できないため	9	20.5%
②協働にふさわしい事業が分からないため	4	9.1%
③協働に関する情報が不足しているため	13	29.5%
④協働について考える時間がないため	7	15.9%
⑤協働で業務を行ったことがないため	13	29.5%
⑥その他	2	4.5%

⑥その他の意見

・必要がない業務もあると思うが、省略した場合に決裁過程において困難になる場合があるため、不要な場合も協議したがる

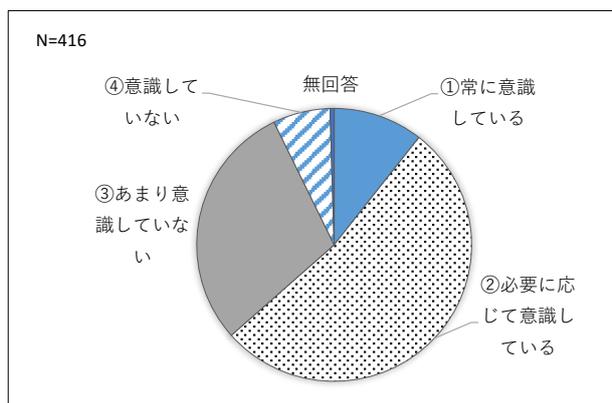


● 「③協働に関する情報が不足しているため」、「⑤協働で業務を行ったことがないため」を選択した人がともに29.5%と最も多い。以下、「①協働の趣旨や目的が理解できないため」20.5%と続いている。

【協働に対する意識について】

問15. あなたは、協働の推進をどの程度意識して業務を行っていますか。（選択は1つ）

	回答数	割合
①常に意識している	44	10.6%
②必要に応じて意識している	220	52.9%
③あまり意識していない	122	29.3%
④意識していない	28	6.7%
無回答	2	0.5%
合計	416	100.0%



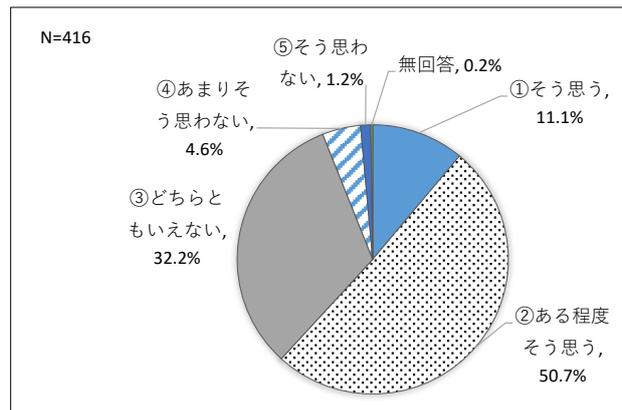
《勤続年数別》

	①常に意識している	②必要に応じて意識している	③あまり意識していない	④意識していない	無回答	合計
1～10年目	14 9.2%	70 46.1%	57 37.5%	11 7.2%	0 0.0%	152 100.0%
11～20年目	9 10.7%	41 48.8%	24 28.6%	8 9.5%	2 2.4%	84 100.0%
21～30年目	11 10.4%	61 57.5%	28 26.4%	6 5.7%	0 0.0%	106 100.0%
31～40年目	10 14.7%	42 61.8%	13 19.1%	3 4.4%	0 0.0%	68 100.0%
41年目～	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%

- 「①常に意識している」「②必要に応じて意識している」と回答した人が合計63.5%である。
- 「③あまり意識していない」「④意識していない」と回答した人が合計36.0%である。
- 勤続年数別に「①常に意識している」「②必要に応じて意識している」と回答した人の割合を見ると、「1～10年目」が55.3%、「11～20年目」が59.5%、「21～30年目」が67.9%、「31～40年目」が76.5%、「41年目～」が100.0%である。勤続年数が長いほど「意識している」と回答した人の割合が高い。

問16. あなたは、市民等に情報を発信する際、相手が受け取りやすい方法と理解しやすい方法で伝えていま  
すか。（選択は1つ）

	回答数	割合
①そう思う	46	11.1%
②ある程度そう思う	211	50.7%
③どちらともいえない	134	32.2%
④あまりそう思わない	19	4.6%
⑤そう思わない	5	1.2%
無回答	1	0.2%
合計	416	100.0%



《勤続年数別》

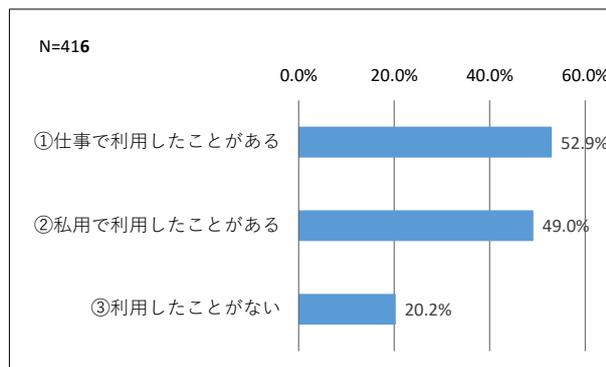
	①そう 思う	②ある 程度そ う思う	③どち らとも いえな い	④あま りそ う思わ ない	⑤そう 思わな い	無回答	合計
1～10年目	17 11.2%	74 48.7%	57 37.5%	3 2.0%	1 0.7%	0 0.0%	152 100.0%
11～20年目	7 8.3%	43 51.2%	26 31.0%	5 6.0%	2 2.4%	1 1.2%	84 100.0%
21～30年目	11 10.4%	51 48.1%	33 31.1%	9 8.5%	2 1.9%	0 0.0%	106 100.0%
31～40年目	10 14.7%	43 63.2%	14 20.6%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	68 100.0%
41年目～	1 16.7%	0 0.0%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%

- 「①そう思う」「②ある程度そう思う」と回答した人が合計61.8%である。
- 「③どちらともいえない」と回答した人が32.2%である。
- 「④あまりそう思わない」「⑤そう思わない」と回答した人が合計5.8%である。
- 勤続年数別に「①そう思う」「②ある程度そう思う」と回答した人の割合を見ると、「1～10年目」が59.9%、「11～20年目」が59.5%、「21～30年目」が58.5%、「31～40年目」が77.9%、「41年目～」が16.7%である。「31～40年目」の人の割合が最も高い。

【マルタスの利用状況について】

問17. あなたはこれまでにマルタスを利用したことがありますか。（選択はいくつでも）

	回答数	割合
①仕事で利用したことがある	220	52.9%
②私用で利用したことがある	204	49.0%
③利用したことがない	84	20.2%



- 「①仕事で利用したことがある」と回答した人が52.9%である。
- 「②私用で利用したことがある」と回答した人が49.0%である。
- 「③利用したことがない」と回答した人が20.2%である。

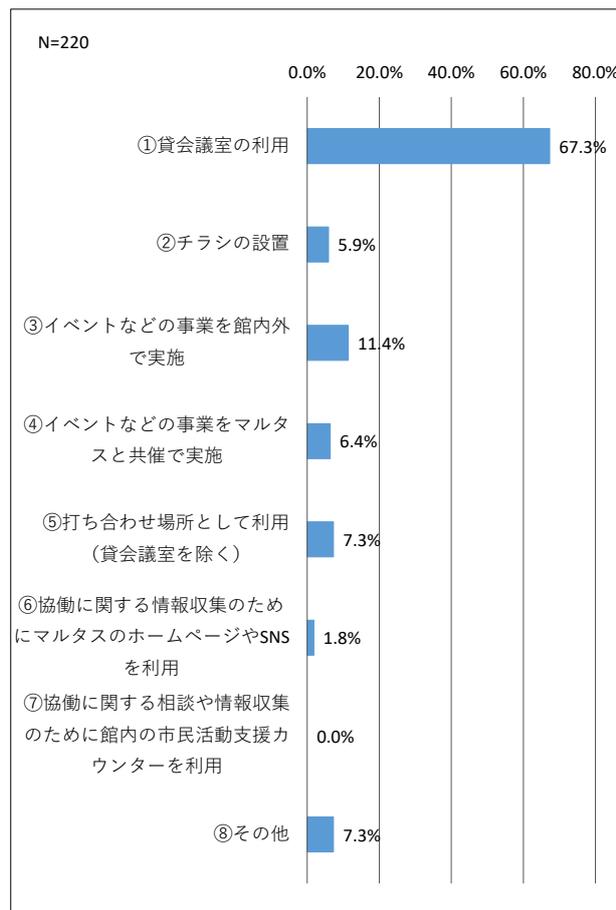
問18. 問17で「②仕事で利用したことがある」と答えた方にお聞きします。どのように利用しましたか。  
(選択はいくつでも)

N=220

	回答数	割合
①貸会議室の利用	148	67.3%
②チラシの設置	13	5.9%
③イベントなどの事業を館内外で実施	25	11.4%
④イベントなどの事業をマルタスと共催で実施	14	6.4%
⑤打ち合わせ場所として利用（貸会議室を除く）	16	7.3%
⑥協働に関する情報収集のためにマルタスのホームページやSNSを利用	4	1.8%
⑦協働に関する相談や情報収集のために館内の市民活動支援カウンターを利用	0	0.0%
⑧その他	16	7.3%

⑥その他の意見

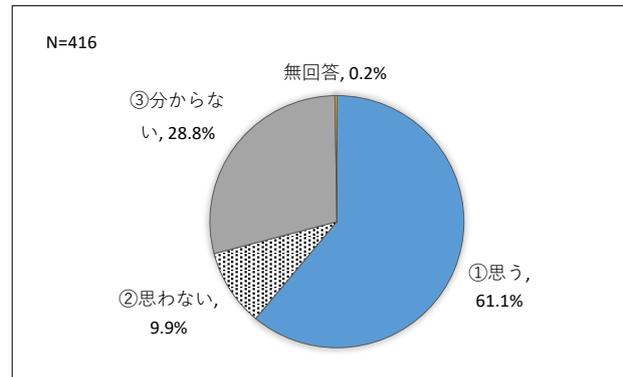
- ・市の研修（7人）
- ・会議への出席
- ・会議、研修、選挙
- ・図書館利用（2人）
- ・図書の活用
- ・子どもの遊び場として
- ・2階のキッズスペースで園児が遊んだ
- ・幼稚園児と屋外保育に使用



- 「①貸会議室の利用」を選択した人が最も多く、67.3%である。同様に、マルタスを「場所」として利用しているという回答では、「③イベントなどの事業を館内外で実施」が11.4%、「⑤打ち合わせ場所として利用（貸会議室を除く）」が7.3%である。
- 「⑥協働に関する情報収集のためにマルタスのホームページやSNSを利用」が1.8%、「⑦協働に関する相談や情報収集のために館内の市民活動支援カウンターを利用」が0.0%と、協働に関してマルタスが発信している情報や、マルタス職員の協働に関する知識などを利用している人はほとんどいない。

問19. マルタスは庁舎との複合施設であり、2階には渡り廊下があります。あなたの業務推進にとって、マルタスの距離的な近さはメリットだと思いますか。（選択は1つ）

	回答数	割合
①思う	254	61.1%
②思わない	41	9.9%
③分からない	120	28.8%
無回答	1	0.2%
合計	416	100.0%



●「①思う」と回答した人が61.1%、「②思わない」と回答した人が9.9%、「③分からない」と回答した人が28.8%である。

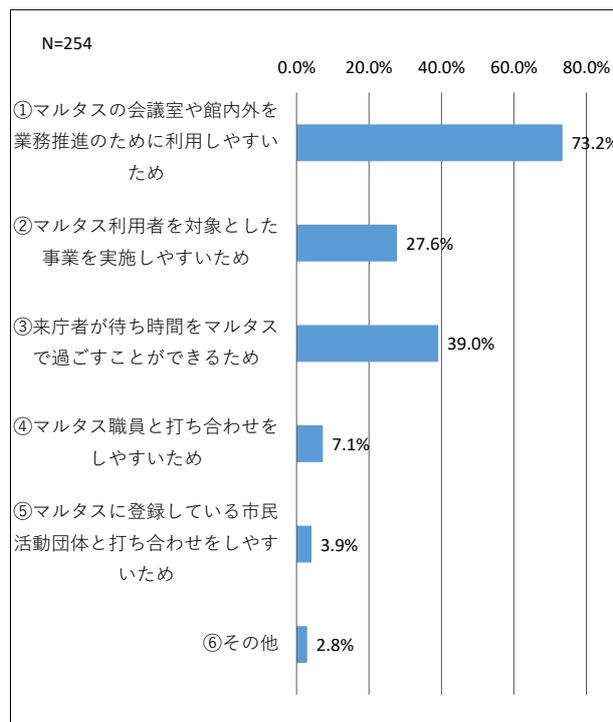
問20. 問19で「①思う」と答えた方にお聞きします。メリットと思う理由は何ですか。（選択はいくつでも）

N=254

	回答数	割合
①マルタスの会議室や館内外を業務推進のために利用しやすいため	186	73.2%
②マルタス利用者を対象とした事業を実施しやすいため	70	27.6%
③来庁者が待ち時間をマルタスで過ごすことができるため	99	39.0%
④マルタス職員と打ち合わせをしやすいため	18	7.1%
⑤マルタスに登録している市民活動団体と打ち合わせをしやすいため	10	3.9%
⑥その他	7	2.8%

⑥その他の意見

- ・距離的近さそのものがメリットでそれ以上の理由はない
- ・会議等の準備のため移動時間がかからない
- ・マルタスと市役所が連結していることで、丸亀の協働を対外的にアピールできること

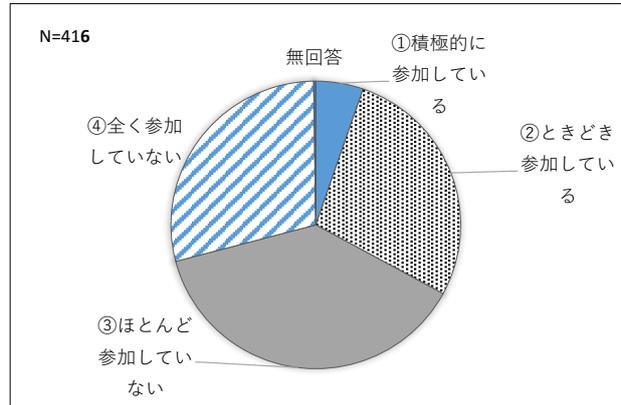


- 「①マルタスの会議室や館内外を業務推進のために利用しやすいため」を選択した人が73.2%と最も多い。以下、「③来庁者が待ち時間をマルタスで過ごすことができるため」39.0%、「②マルタス利用者を対象とした事業を実施しやすいため」27.6%と続いている。
- 「④マルタス職員と打ち合わせをしやすいため」は7.1%、「⑤マルタスに登録している市民活動団体と打ち合わせをしやすいため」は3.9%である。

【地域活動への参加状況について】

問21. あなたは、仕事以外で地域活動に参加していますか。（選択は1つ）

	回答数	割合
①積極的に参加している	22	5.3%
②ときどき参加している	115	27.6%
③ほとんど参加していない	158	38.0%
④全く参加していない	120	28.8%
無回答	1	0.2%
合計	416	100.0%



《勤続年数別》

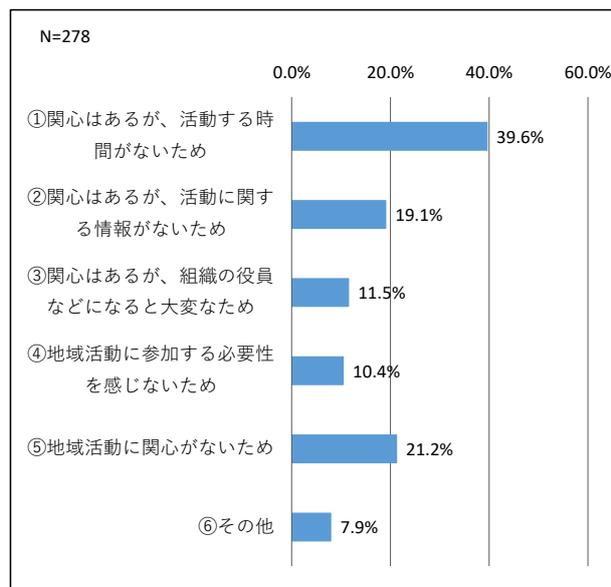
	①積極的に参加している	②ときどき参加している	③ほとんど参加していない	④全く参加していない	無回答	合計
1～10年目	3	35	57	57	0	152
	2.0%	23.0%	37.5%	37.5%	0.0%	100.0%
11～20年目	2	18	33	30	1	84
	2.4%	21.4%	39.3%	35.7%	1.2%	100.0%
21～30年目	7	35	39	25	0	106
	6.6%	33.0%	36.8%	23.6%	0.0%	100.0%
31～40年目	8	27	25	8	0	68
	11.8%	39.7%	36.8%	11.8%	0.0%	100.0%
41年目～	2	0	4	0	0	6
	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%

- 「①積極的に参加している」「②ときどき参加している」と回答した人が合計32.9%である。
- 「③ほとんど参加していない」「④全く参加していない」と回答した人が合計66.8%である。
- 勤続年数別に「①積極的に参加している」「②ときどき参加している」と回答した人の割合を見ると、「1～10年目」が25.0%、「11～20年目」が23.8%、「21～30年目」が39.6%、「31～40年目」が51.5%、「41年目～」が33.3%である。「21～30年目」「31～40年目」の人の割合が比較的高い。

問22. 問21で「③ほとんど参加していない」「④全く参加していない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。（選択はいくつでも）

N=278

	回答数	割合
①関心はあるが、活動する時間がないため	110	39.6%
②関心はあるが、活動に関する情報がないため	53	19.1%
③関心はあるが、組織の役員などになると大変なため	32	11.5%
④地域活動に参加する必要性を感じないため	29	10.4%
⑤地域活動に関心がないため	59	21.2%
⑥その他	22	7.9%



⑥その他の意見

- ・これからの未来を見据えた活動がなされていない！
- ・妻が地域活動に参加しているため
- ・他の家族が主に参加している
- ・日中は仕事にでており、地域とかわる必要性が薄い
- ・昔からやってきたこと国から言われたことをただ継続しているだけ！
- ・自治会に入れないと自治会から言われたから。活動に参加しようとしたらお金だけ出してと言われたから
- ・今のところ参加の機会がないため
- ・地域自治体等からの活動に関する要請がないため
- ・きっかけがない
- ・現在地は一時的な居所だと考えているため

● 「①関心はあるが、活動する時間がないため」を選択した人が39.6%と最も多い。以下、「⑤地域活動に関心がないため」21.2%、「②関心はあるが、活動に関する情報がないため」19.1%と続いている。

【自由記述】

<p><b>問23. 本市の協働推進について必要と思うことなど、ご意見を自由に記載してください。</b></p>
<p>・各課がそれぞれ事業に取り組んでいるが、重複したり類似したりしていることがあるのではないかと思いますので、整理が必要なのではないかと思います。また、庁内でまず協働して事業に取り組むことで、内容の充実にもつながるのではないかと思います。</p>
<p>・まずは、各課の風通しを良くしないと全体の整合は図れない。</p>
<p>・政策を進める上で、市民のニーズに応えるため、地域の関連団体と密な関係を築いておく必要がある。</p>
<p>・協働を行う相手方が、ほぼ固定（コミュニティや特定のNPO、各種学校等）に固定化されているイメージが強い。固定化によるメリットもあるが、特にコミュニティは顕著であるが高齢化で組織の若返りがうまく行っていない団体が相手の場合、事業の先細りが非常に不安に感じる。協働先を増やしたり、運営を自力でできるよう団体の健全維持な周知啓発に力を入れる必要も感じる。</p>
<p>・市職員の大半が行政とNPOと一緒に作業することが協働だと思い込んでいる。実践が伴わない研修は全く意味がない。なんでもかんでも協働の視点を持つということではなく、業務として協働が必要な部署を特定して、育成や事業実施に集中投資するようにシフトチェンジしなければいけないのではないかと。協働や市民活動・NPOを理解している職員が少ないので、業務外で様々な活動に関われるように全庁的取り組みとして推進すべきではないか？</p>
<p>・ほとんどの部署で必要だと思う。</p>
<p>・職員目線において、ただの業務ではなく、丸亀市をどのような街にしたいのか、そのために今の業務では何ができるのかを考える仲間（職員）が増えれば良いと感じます。その中で市民活動団体等との協働という方法も選択肢に入ると、より効果的だと思います。</p>
<p>・職員の皆さんがもっと市民活動に関わって、活動団体や様々な職種の方達と話をしたり交流し、自分の見地や視野を広げる事ができると思うので、普段の業務にも活かせるだけでなく、ワークライフバランスにも良い影響があると思う。例えばマルタスと協力し、市の職員達が何かの活動を行い、それを活動団体や市民の方に市の魅力を発信していくことは、丸亀市の情報発信の一つの有効活用というところで大きなメリットがあると思う。</p>
<p>・無関心な人の意識改革</p>
<p>・協働といっても通常の業務では市民からの要望等（今まで自治会で行ってたものを市で行ってきているなど）を一方向的に受けることが多いため現実的には協働の推進は困難になってきているのではないかと思います。でもたまに頭が下がるような素晴らしい市民もいらっしゃいます。協働してもらえる団体等にはサポートしていく施策は必要とは思いますが。また、協力してもらおう働きかけの方法、きっかけもわかりません。相手が市で行うべきことと思っていることを協働でしようというトラブルのきっかけにもなるので担当としても消極的になります。</p>
<p>・近年、多くの民間企業が社会貢献の機会や場を模索しており、行政はいかにこれに応え、民間の持つ資本やノウハウを吸収するかが今後の事業推進の鍵になると思われる。合わせて、遊休の市有施設や土地などを市場に出して、これらの有効活用の視点から官民連携と協働を推進することも重要ではないか。</p>
<p>・市民と本市にとってウインウインとなる協働推進が望まれる。</p>
<p>・関係者と対等な立場で考えを共有する場を設けるなど、関係構築の機会があれば良いのではないかと思います。</p>
<p>・積極的に外部に頼むべき。閉ざされた組織での活動は不可能。</p>
<p>・他の方はわかりませんが私としては、協働と一言でいってもピンとこないため、目的は何で具体的にどう進めるのかを明確に広く知ってもらうことも大切なのかと考えます。そもそもは良い取り組みなのだと思います。</p>
<p>・協働は、市民等と対等な立場で、と定義されていますが、市民等からしたら、市と対等とは思ってなく、市がすればいい、市におしつけられたいと考えている人が多数いると思われるので、市の業務ばかり増えるので、協働は市にメリットがないと思います。</p>
<p>・協働＝手間と結びつける職員が多いように感じられますが、協働の相手さえ見誤らなければ業務負担の軽減につながるとともに、事業効果の広がりが期待できるとしています。また、協働の相手とWin-Winな関係を構築していくマインドも必要ではないでしょうか。</p>
<p>・市民に情報をわかりやすく公開し、高齢の方でもみやすい掲示の仕方をする</p>
<p>・マルタスが本当の意味で協働の場の核となるよう期待しています。その役割にふさわしい運営を研究していただきたい。</p>
<p>・新しくできる市民会館とマルタスとをどのようにつなぎ有効利用していくのかを周知してほしいです。</p>
<p>・全職員が業務として地域活動に参加した方が、本来の業務を多面的に推進することができる。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に意識をまわす余裕がない</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事が沢山あり過ぎて、定時で帰る事が難しい事が多々あります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の意見だけではなく、年齢別に要望を求めることができればより良い街作りの一つになるのではないのでしょうか</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体の構成員には本来各自らが負うべき職責や役割においても「丸亀市におんぶに抱っこ」の意識の者が増えている。各構成員の自治意識向上が必要である。市民団体と非構成員との間でトラブルが生じた場合は市民団体側が弱い（法令・判例的に）。市だけの話にならないが、組織を強く支える法例条規の制定が望まれる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎・マルタス、新市民会館が本市旧市街に位置することで、飯山・綾歌地域の市民にとっては、あまり協働の発展につながっていない。市民の意識は特に疎外感が強いだろうと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に何をしているかが不明。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より快適な生活を送るために必要な行動を起こす思考と実行力を幼い時から身につけることが必要。</li> </ul>